

様式第 4 号

課題名	IVR に関する医療被ばく実態調査及び線量評価
承認番号	調 2019-4 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 放射線科診断科 氏名 福島 徹
研究期間	(西暦) 2018 年 8 月 ~ (西暦) 2020 年 7 月
研究の意義・目的	医療被曝の中では、X 線 CT とともに IVR の寄与が大きいことから、今後の診断参考レベル (Diagnostic Reference Level : DRL) 見直しに向け、実際の病院で行われている IVR の実態を調査し、得られたデータから DRL を設定します。
研究の方法 (対象期間含む)	日本医学放射線学会の放射線診断専門医総合修練機関、修練機関 700 施設において、2018 年 11 月の 1 か月間に施行された、脳血管撮影、心臓血管撮影、脳動脈コイル塞栓術、冠動脈形成術、肝動脈化学塞栓法、腸骨・下肢動脈拡張術、胸部大動脈ステントグラフト内挿術、腹部大動脈ステントグラフト内挿術、胆道ドレナージ術の、各手技の連続する 3 症例を対象としてデータを収集します。得られたデータから、被曝線量の算出、頻度および線量分布の解析を行い、IVR における診断参考レベルを求めます。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	症例毎に各項目を記載し、個人を特定するデータを削除した匿名化データを作成、ファイルを学会へ返送します。学会では返送されたファイルを放射線医学総合研究所へ送付し、医療被曝のデータベースに入力、解析を行います。
利用又は提供する 試料・情報の項目	手技を受けた患者の性別、年齢、身長、体重、装置の種類、手技の種類、空気カーマ、総面積線量、透視時間、撮影数、CT 回数、CTDI、DLP、各手技の年間件数
試料・情報を 利用する者の範囲	放射線科診断科 福島 徹
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	当 院：放射線科診断科 福島 徹 提供先：日本医学放射線学会 理事長 今井 裕
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 放射線科診断科 氏名 福島 徹 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101

